



◎◎◎◎◎
2015年EPOC文化祭 終わる!
◎◎◎◎◎
江別市情報図書館に於いて 2015年11月3日

視聴覚室

EPOC（江別パソコン利用研究会）は、江別のパソコン愛好者が集まった市民の会です。その成果を発表する場として、毎年11月3日の文化の日に「パソコン文化祭」を開催しています。

EPOCの活動は、パソコン利用にあたって、情報収集・処理・加工・発信等に役立て、自らの日常生活をはじめとして地域社会への貢献の一助として皆で進めていきます。



コンピュータ学習室

◇パソコン操作の相談◇ パソコンの仕組み・操作方法の相談・Excel編、Word編 など

デモ展示室

◇各部会の写真展示およびプリクラなど・・・小学生・中学生に人気がありました。



第一部 ◇編集部による活動報告◇ 発表者：高橋 晃さん

1. 北海道博物館 2. 北海道開拓の村

第二部 ◇TOLOT(トロット)のご紹介◇

撮った写真を簡単にフォトブックに！ 発表者：大栗 一孝さん

- 1 コイン(500円)でこれだけの事が！と好評。

◇プリクラ写真体験

プリンターでこんなことも・・・と人気。

◇占いコーナー

毎年恒例パソコン占い、あなたの運勢は？

EPOC会員による展示、掲示物。

例年にも増して、多くの作品が発表されました。

パソコンを駆使し特に手間を惜しまず作り上げた作品は、各部会の特色のうかがえる力作ぞろいでした。

(編集部)

EPOC（江別パソコン利用研究会）は、

EPOC会員はじめ情報図書館を利用される一般市民の方々へのサポートを



含めて、各部会活動で習得を行なっております。

- ①EPOC会員講師による情報図書館の講習会 ②EPOC会員のための講習会
 ③Office部会 ④シニア部会 ⑤サムディ部会 ⑥DCE部会 ⑦学習部会 ⑧アーカイブ部会
 ⑨Web部会 ⑩皆川教室

この他にも2ヶ月毎に会報を発行して情報発信に努めております

これからも「地域社会への貢献の結果、自らのスキルアップに繋がった!!」を、皆で目指していきたいと思っております。

EPOC文化祭！ 2015年11月3日 江別市情報図書館に於いて
 その後の懇親会の様子と合わせてご覧ください！



文化祭終了後、懇親会を「居酒屋」いろはにて行いました。
 各自自己紹介を兼ね、日常取り組んでいる事等を発表し2時間30分位で、会も無事終了しました。
 来年も良き年であります様、祈念します。

部活動報告!



情報図書館
13:00～14:50

★平成27年11月28日(土)

講師 小池美津子さん 参加者:20名

【学習内容】

前半は、9月の復習を兼ねながら、「ヘッダー・フッター」の設定のし方や教材テキストに載っていない設定のし方を交えながら確認しました。

後半は、130pからの「印刷タイトルの設定」「印刷イメージの確認画面で出来る事」「改ページプレビューの利用」等136pまで進み、第5章を終了しました。

その後、「確認問題2問」「第5章練習問題」を、時間の中でそれぞれ解いていただきました。

1月は、その3つの問題から皆で確認していきたいと思っております。



情報図書館
10:15～12:00

★平成27年11月28日(土)

講師 矢萩 巽さん 参加者:19名

【学習内容】

Wordのたくさんある機能の中から、本日は「ページ書式とレイアウトのテクニック」について学習しました。

例えば両面印刷をして綴じる時の余白のバランスを良くして見映えのする文書の作成など、この機能を上手に使うことで、差がつく文書を作ることが出来ます。

具体的な内容は

- ◎本文を片側に寄せて両面印刷をする設定法
- ◎ページ番号の位置を奇数、偶数で左右に分けて表示する
- ◎目次に続く本文のページ番号を「1」から起番する方法
- ◎本文領域の上下を罫線で飾る方法
- ◎ページ幅一杯に「キリトリ線」をつける方法

他に「ページ罫線を表や段落罫線につなげる」を用意していましたが、時間の都合で次回に延ばしました。

新し

い会員の参加もあり、また、テキストだけの要望もありましたので、関心度が高かったように思います。

次回(1/23)は今回の残り「図の操作のテクニック」について学習する予定です。



情報図書館
10:30～15:00

★平成27年11月15日(日)

講師 小池美津子さん 参加者:5名

【学習内容】

今回は、新しい方が参加されたので、10月に学習した所を復習を兼ねて

「PowerPoint2010」のテキストの第2章から学習しました。

基本的なプレゼンテーションの作成からプレースホルダの操作、スライドの挿入・削除のし方、文字の入力や書式の設定などを学習し、スライドの入れ替えや複製の様々な作成のし方、保存のし方等を学習しました。

次回は、64pから進める予定です。

次回は、「1月31日 10時30分」より情報図書館ボランティア室でおこないます。



部活動報告!



情報図書館
10:15～12:00

★平成27年11月14日(土)

講師 竹内 秀機さん 参加者: 16名

＝学習内容＝

テーマ ”スライドショービデオを作ろう”

秋の文化祭も終わり各自、新しい目標に取り
組む頃と思います。

DCE部会も予定を変更して、デジカメ写真の
ビデオ化に取り組みました。

持参いただいた写真をMS社 フォトギャラ
リーで探し、まとめて取り込み、同社ムー
ビーメーカーで「スライドムービー」に仕上
げました。さらに完成度が上がるように、次
回は写真を事前準備してスムーズな進行をし
ます。

皆さま、宜しくお願いいいたします。

、1月～3月は、初歩のフォトショップ講座
になります。宜しくお願いします!



情報図書館
13:00～15:00

★平成27年11月8日(日)

講師 西山 真理子さん 参加者: 3名

＝学習内容＝

- ①『メタリックな質感をもったロゴを作る』
- ②『木目に焼き込んだようなロゴを作る』

変形のガラスを使用。

レイヤー効果ベベルとエンボスを使用。

以上を学習しました。



情報図書館
15:00～17:00

★第14回 平成27年11月14日(土)

講師 猪股 嘉治さん 参加者: 9名

＝学習内容＝

- ① PhotoShopで年賀状
- ② デスクのクリーンアップの方法

★第15回 平成27年11月28日(土)

講師 藤倉万理子さん 参加者: 11名

＝学習内容＝

GIMP(ギンプ)で出来た枠の中にデジ
カメで撮った画像をはめ込む

というテーマで年賀状を作成しました。

最後まで出来ませんでしたので1月に完成させ
ることにしました。



会場	日付	時間
大麻えぼあ会場	11月4日(水)	13:00～16:00
情報図書館	11月13日(金)	13:00～14:50
野幌公民館	11月17日(火)	13:00～16:00



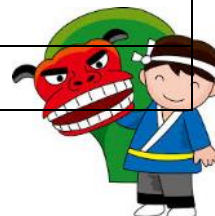
部活動予定!



2日(水)	13:00~16:00	●シニア部会・大麻えぼあ会場
11日(金)	13:00~14:50	●シニア部会・情報図書館
12日(土)	10:15~12:00	●DCE部会・情報図書館
	13:00~14:50	●会員向けの講習会 Word活用術・情報図書館
	15:00~17:00	●Office部会・情報図書館
13日(日)	13:00~15:30	●Web学習会・情報図書館
	13:00~16:00	●市民向け講習会 Excel初級・情報図書館
15日(火)	13:00~16:00	●シニア部会・野幌公民館
20日(日)	10:30~15:00	●幹事会・情報図書館



6日(水)	13:00~16:00	●シニア部会・大麻えぼあ会場
8日(金)	13:00~14:50	●シニア部会・情報図書館
9日(土)	10:15~12:00	●DCE部会・情報図書館
	13:00~14:50	●会員向け講習会 Excel便利技②入門・情報図書館
	15:00~17:00	●Office部会・情報図書館
10日(日)	13:00~15:30	●Web学習会・情報図書館
	13:00~16:00	●市民向け講習会 デジカメ写真・情報図書館
19日(火)	13:00~16:00	●シニア部会・野幌公民館
23日(土)	10:15~12:00	●学習部会・情報図書館
	13:00~14:50	●サムデイ・情報図書館
	15:00~17:00	●Office部会・情報図書館
31日(日)	10:30~15:00	●アーカイブ部会・情報図書館



ねえねえ知ってる!

Office2016 ライセンスの話 日経パソコン より

本当にややこしい「Office2016」のライセンス

日本マイクロソフトは2015年9月23日、オフィスソフトの最新版「Office 2016」の提供を開始！「Office 365」のユーザーや、「Office Premium プラス Office 365 サービス」(Office Home & Business Premium プラス Office 365 サービスなど)がプリインストールされたパソコンのユーザーは、**最新版へのアップグレードが可能**。永続ライセンス版とボリュームライセンス版の販売も開始された。Mac版の「Office 2016 for Mac」は先行リリースされ、これで「2016」バージョンのOfficeが出そろった。

Office 2016は、Windows版に限っていうと、Office 2013から目立った変化がない。関係がありそうな新機能は、グラフの種類が増えたこと(ツリーマップやヒストグラムなど)、ヘルプを検索する感覚で目的の機能を直接呼び出せること(操作アシスト)、ExcelやPowerPointで作業ウィンドウを使ったWeb検索ができるようになったこと(スマート検索)程度だろう。上端のバーの色などデザイン面以外にユーザーインターフェースはほとんど変わっていないため、Office 2013のユーザーにとってはどこが変わったのかを見つけることが難しいくらいだ(図1)。



Excel 2016の画面。Excel 2013に比べて、メニューや操作感などに大きな変化はない。作成できるグラフの種類は増えている



左がWindows 10向けのWord Mobile、右はiPhone向けのWord Mobile。マルチデバイス対応が新しいOfficeのウリだが、商用目的で使う場合はライセンスに注意が必要



個々の新機能よりも「ワークスタイル」を革新

9月29日に開催したOffice 2016の記者説明会では、個々のアプリケーションの新機能ではなく、「モバイルファースト、クラウドファースト」時代における「新しいワークスタイル」「新しいワークライフ」の実現という強調をしていた。Windowsパソコンだけでなく、MacでもWindowsと変わらぬ機能操作感を実現。iPhone/iPadなどスマートフォンやタブレットにも「Office Mobile」を提供(図2)。これら全てがクラウドを介して連携し、**どんな場所でもどのデバイスでも同じOffice文書**を閲覧・編集、チームでの共同編集可能な点が、Office 2016の新機軸。その新機能やユーザーインターフェースの違いは、WordやExcelといった各アプリケーションを個人で利用する分には、ユーザーが戸惑いそうな点がほとんど見当たらない。感覚的には、これまでOffice 2013を使っていたユーザーなら、すんなりとOffice 2016を受け入れられるだろう。しかしながら、機能面とは別に、ユーザーがきちんと理解しておかなければならないポイントがOffice 2016にはある。それが「ライセンス」の問題だ。

「Office Premium」の登場

日本マイクロソフトが国内で「Office 365」の提供を開始したのは2011年6月。

Office 365とは、月額または年額課金で利用するサブスクリプション形式のクラウドサービスである。Office 365の中では、機能を随時アップデートしていくクラウドサービスの一部として、WordやExcelも常に最新版にアップグレードして利用できるライセンス形態になる。その後、2014年10月新しいOffice製品として「Office 365 Solo」と「Office Premium プラス Office 365 サービス」の提供を開始したが(図3)、永続ライセンスの製品も継続して提供され、パソコンにプリインストールされるOfficeの多くはOffice Premium プラス Office 365 サービスに切り替わった。このライセンス形態が、それまでの永続ライセンスに慣れ親しんだユーザーにとっては、非常に分かりにくい。



「Office Home & Business Premium プラス Office 365 サービス」の紹介ページ。Officeアプリケーションに、Office 365サービスの1年分が付属。





ねえねえ知ってる!



「Office 365 サービス」は1年限り

個人向けの Office 365 といえる Office 365 Solo は、最初からサブスクリプション形式で販売されているので、比較的しやす。Word や Excel などの Office アプリケーションを月額または年額課金で利用でき、1TB のオンラインストレージ (OneDrive) やスマートフォン/タブレット向け Office を商用利用できる権利などが付属する。継続して使いたければ、契約を更新し続けなければならない。

対して、Office Premium プラス Office 365 サービスは少々複雑だ。パソコンにプリインストールされている製品なので、ライセンス形態を意識せずに使っているユーザーが多く混乱の種になるかもしれない。

Office Premium プラス Office 365 サービスは、従来の永続ライセンスとサブスクリプション形式の“折衷案”だ。Office アプリケーションについては、永続ライセンスと同様にずっと使い続けることが可能。しかも Office 365 と同様、最新版へと無料でアップグレードできる特典付き。製品名に「2013」「2016」といったバージョン番号がないのはそのため。ただし、「プラス Office 365 サービス」の 1TB のオンラインストレージ (OneDrive) やスマートフォン/タブレット向け Office を商用利用できる権利は、1 年間に限られ、2 年目以降も使うには年額 6264 円でのサブスクリプション契約を更新しなければならない(図 4)。

更新すべきかどうか検討を

従って、昨年 10 月以降に Office Premium プラス Office 365 サービスがプリインストールされたパソコン購入時は、2 つの注意点を気に掛ける必要がある。1 つは Office 2016 にアップ



Office Premium に付属する Office 365 サービスの更新ページ。6264 円で 1 年間延長できる

グレードすべきか、もう 1 つは「Office 365 サービス」の契約を更新すべきかどうかだ。もし、OneDrive に 15GB (無料利用の容量) 以上のデータを保存しているなら、他にバックアップするか、「Office 365 サービス」を更新し、契約終了を確認し、対処法を検討しよう (図 5)。



Office 2016 へのアップグレードについては、ユーザーがどうするかを選択できる。ちなみに、この秋発売されるパソコンにプリインストールされている Office Premium プラス Office 365 サービスも、最初にセットアップされるのは Office 2013 であるケースが多いようだ。もちろん、Office 2016 を利用したければ、いつでもアップグレードできる。OneDrive のページ左下にある「ディスク容量を追加する」をクリックすると、現在の使用状況を確認できる。「Office 365 サブスクリプション」の部分が、契約期間中のみ使える容量

「Office Mobile」のライセンスも複雑

加えて悩ましいのが、「Office Mobile」のライセンスである。既に利用しているユーザーも多いと思うが、今では iPhone/iPad や Android 向けの Office が無料で提供されている。さらに、Windows 10 向けにも Office Mobile の提供が始まった。これらを使う際にも、Office 365 のライセンスに関する知識が必要になる。が、これらについては他に譲りここでは割愛する。

以上、Office 2016 の登場を契機に、主に個人向け Office 製品のライセンスについて確認してみた。個人向け製品にも Office 365 のライセンス形態が一部採り入れられたこと、Office 365 の契約によって初めて商用利用が認められる Office Mobile が登場したことなど、Office のライセンスは従来以上に複雑になっている。自分のライセンスがどのような形態になっているのかを確認した上で、使える権利は十分に活用し、「新しいワークスタイル」を実現したいところだ。



(この項、ウェブサイトITPROby日経コンピュータ [記者の眼](#) 田村 規雄 氏=[日経パソコン](#) より抜粋)

(竹内 秀機 記)

編集後記!

はや年の瀬。皆様の師走はいかがでしょうか・・・



Office2016の記事の抜粋をご紹介しましたが、題名の通り本当にややこしいことになっています。売り手側に翻弄されずに、今ある環境を今一度大切にしておく事がベストと思います。十分な時間をかけて移行を見つめて行きましょう。(たけうち)

事務局・お問い合わせ先
入会ご案内等は下記へ!
Eメール: info@e-epoc.jp
☎ : 090-9524-8192
EPOC代表幹事: 中村 義弘